長洲町立長洲小学校　校長便り　No.７２

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和５年２月１７日(金)

【愛語録】　「失敗しないことをいつも最優先に考えて行動していくと、
無意識のうちに徐々に失敗していくともいえる。」　佐々木 直彦（コンサルタント）氏の言葉

独り言

最近思う。仕事をするにあたり、自分は何を求めているのか？ 最近、その答えが見え始めたような気がする。私はこれまでの仕事で、功績を残そうとしてきたような気がするのだ。しかし、定年退職後、功績は名誉として残るかもしれないが、それは自己満足でしかないように思う。現に、私は今教え子達との繋がりが楽しく、心地良くて仕方がない。さて、仕事で何を求めるか？ 私はこう思う。「残すのは功績ではなく、人である」と。

人が理念や伝統を引き継いでいくと考えれば、知識を詰め込むだけでなく、物事に対する考え方を教え子達と共有し、共に成長していく教師、人でありたい。私自身が未熟であるからこそ、そう強く思う。辛いことが幾らでもあるのは浮世の常だ。逃げずに向き合い、後悔しないようにしたい。

学習面で中学入学までにやっておくこと

今から書くことは、中学校に入って困らないようにするために、学習面で身に付けておきたい最低限のことです。数年前、知り合いの中学校の先生方に聞いたことなので、即効性があり、中学校での学習についていくために必要なことだと思われます。また、入学直後に実施される実力テストにも効果が期待できます。これから取り組めば成果が上がります。やる気さえあれば低学年でもＯＫです。

①小学校での漢字をすべてマスターすること

これは一つの漢字についての音読み、訓読みはもちろん、それぞれの読みを使った熟語とその意味を、小学漢字辞典に載っているものについては、できるだけマスターして欲しいとのことでした。

②算数の公式とかけ算九九をすべて理解しておくこと

「冗談ではなく、全国的にみて「かけ算九九」を暗唱できない６年生が多いようです。あわせて公式もです。公式は学校で指導する場合、子供達自身が公式を導き出すという方法で学習しています。学習した直後は「なるほど～。」なんていうなずいていますが、すぐにそれを忘れ、単なる暗記になってしまいます。意味をしっかり理解しておくことが重要です。

③日本の４７都道府県の名前、位置を覚えること

これは名前を「言える」ではダメです。漢字で書けるようになっておくこと。また、県庁所在地も漢字で書けるようになっておくと万全です。更に、小学校の社会の教科書に出てきた世界の国々については、国名（正式名称）、首都、位置は覚えておくといいですね。

④小学校５、６年で学習した社会の内容の暗記

何故かというと、内容を暗記しておけば、入学直後の実力テストでは即効性が期待できるからです。また、小学校で学習した内容を、更に深化するかたちで中学校の社会科の学習が進んでいきます。地理、歴史、公民という分野に細分化され、詳しく学習していくことになるのです。基礎となる知識を身に付けていれば、中学校での学習の成果は変わるのです。学習したことはすべて覚えていて欲しいのですが、子供達にしてみれば、なかなかそういうふうにはいかないんですよね。しかし、後で苦労することが目に見えていますので、右にあげたものに関しては、できる限り、中学校の入学式までにはマスターしておいて欲しいと思っています。

シリーズ「自分を語る」#７２

さて、３年生にどんな活動をさせるか。私は頭を抱えました。それまで高学年の担任しか経験がなく、発達段階に合った活動…、思考がマイナススパイラルに陥りました。そこで私はいつもの通り開き直り、「よし、これまで通り、歩こ～っと！」との結論に至り、「強歩会」の実施を企てます。そんなに上手くいくはずがないのに、結構楽観的な澤田です。で、何㎞歩くの？ いつ歩く？ どこを歩く？ 色々な疑問が沸き上がりました。そんな疑問を５月までには解決し、先ずは子供達の理解を得なければなりません。その後、保護者の理解も得て、協力体制を創ることも重要です。予想はしていたものの保護者の皆様からは多くの問い合わせがありました。でも、玉名町小学校時代にその経験はしていましたので、理解を得るまでにそんなに時間はかかりませんでした。結局、３年生の発達段階から判断して、歩く距離は１７㎞、夏休みの午前中に歩くということになりました。本番までに時間がありますが、やることはたくさんあります。そのたくさんあるやることを子供達主体でさせていくのです。これって結構時間がかかります。でもこれをさせることによって、主体性が増します。班編成、仕事分担、その他多くのことを子供達主体で活動しました。当然、担任としても指導はしますが、どちらかというとアドバイザー的な役割に徹しました。そして、子供達は「強歩会」の成功に向けて必要な取組、「朝のランニング１０周」もスタートしました。いつも何かやっている３年生集団として、私も担任として「しめしめ」と思いました。

いよいよ夏休みです。楽しみにしていた夏休みでしたが、３年生の集団にとっては違った意味での楽しみがありました。「強歩会」、この響きに子供達は酔いしれていました。単なる「強歩会」ではなく「俺たちの強歩会」「強歩会の澤田組」というイメージです。言葉は悪いですが少々排他的な雰囲気の漂う感じでした。それでも４０名弱の集団が同じ方向に向いて活動している、心地よさを感じるほどでした。

実施当日、ＪＲ西里駅に貸し切りバスで移動し、そこから伊倉小学校を目指して歩きます。当日もそれまでの教え子達が手伝いに来てくれました。ＯＢ、ＯＧ達も、３年生の子供達からなる班に、よく合わせて歩いてくれました。スタートしてからは何も問題なく順調でした。というよりゴールまで何の問題もなく終了しました。私は最後尾を歩いていましたが、先頭でゴールした子供達は鬼ごっこをして遊んでいるほど、余裕のあるゴールでした。子供達には私達が考えている以上に体力があったのです。これではいかんと思い、来年度への構想を練り始める私澤田でした。そう簡単に４年生に持ち上がる訳ないのに、またまた楽観的な澤田でした。　（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）